



少年消防クラブ交流会に参加して

川崎小学校少年消防クラブ（徳島県三好市）

本校は、徳島県の西部、祖谷川が吉野川に合流した地点に位置し、豊かな自然に囲まれた町にあります。過疎化が進み、小規模校の統廃合、休校が進む中、全校児童6名、PTA戸数5件と、三好市内で最も小規模の学校となりました。
今回、この交流会には5年生2名が参加しました。参加にあたり、白地小学校少年消防クラブから助っ人に来ていただきました。



いただいた活動服とキャップはとてもかっこよくて、まるで消防士になった気分でした。今日一日がんばろうと思いました。



開会式では、たくさんの人やふんい気に少し緊張しました。とにかく暑かったけれど、最後までがんばりました。



クラブ対抗障害物競走では、最後家でも練習した巻き結びを、落ち着いてすることができたのでよかったです。



やっとゴールしたら、相手チームはすでに並んでいました。「遅かったー！」と思いました。けれど、自分の持ち場を一生けんめいがんばったので、悔いはないと思いました。



クラブ対抗リレーでは、ほくは第2走者でした。バトンをもらう前に走り出した減点だと聞いていたので、気をつけてスタートしました。練習ではわりと早く標的を倒せたのに、本番ではあせってしまって少し時間がかかってしまったことが残念でした。



クラブ対抗リレーでは、ほくは第3走者でした。できるだけ早く次の第4走者にバトンをわたしたいと思っていました。けれど、ハードルを倒したら減点と聞いていたので、とにかくハードルを倒さないようにとび、くぐろうと必死でした。バトンをわたして、「ああ、これでやっとほくの仕事が終わったあ。」と思いました。



競技が終わった後、飯泉知事と写真を撮ったこともいい思い出です。ほく達は、この少年消防クラブ交流会での活動を通して、次のようなことを学びました。

- あいさつや礼儀の大事さ
 - 時間を守って行動することの大切さや大変さ
 - チームプレイでは、まず自分の役割や責任をしっかりと果たすことが、班で協力することにつながるということ
- ほく達は8月8日のみの参加でしたが、貴重な体験ができました。ありがとうございました。また、ほく達のために何度も足を運び、教えてくださった三好市役所の掛野さん、いっしょに競技に出てくれた白地小学校の皆さん、本当にありがとうございました。

三好市立川崎小学校 5年 南 恒輝
梅本 竜次